



平成 28 年度石狩管内学校図書館活性化推進研修会 事業報告

学校図書館の効果的な活用や魅力ある学校図書館づくりなどを目的として、学校図書館担当者等を対象に研修会を実施しました。

【日 時】平成 28 年 8 月 1 日 (月) 9 : 30 ~ 16 : 00

【会 場】恵庭市立和光小学校

【講義】「今、求められている学校図書館」

■講師 全国学校図書館協議会スーパーバイザー
野村 邦重 氏



■内容
1 今、学校教育に求められていること

○思考力・判断力・表現力等を育むための言語活動の充実が求められている。そのため、「教材の充実」、「読書活動の推進」、「学校図書館の活用や言語環境整備」が重要である。

2 学校教育を支える学校図書館

○学校図書館は、「学習センター」「情報センター」「読書センター」であり、読書活動の拠点となることが望まれる。そのため、校長のリーダーシップのもと司書教諭と学校司書が中心となり、学校図書館機能の充実を図ることが重要である。

【説明・質疑】「学校図書館の効果的な活用」

■講師 恵庭市立和光小学校

司書教諭
笹川 裕美子 氏
学校司書
佐藤 貴子 氏



1 主な読書活動

○図書館利用指導の実施（春と秋）、図書カーニバルの開催、読書一人100冊運動の推進など読書活動を充実させるための取組を行っている。

2 学校司書の業務

○市立図書館や各小中学校と連携し、児童生徒の学習や読書活動を支える学校図書館づくり。
○学年別利用指導・選書・学級文庫充実・ボランティア活動の準備・図書委員会サポート等司書教諭と連携を図りながら実施。
○本と人との架け橋になれるよう教職員やボランティアと連携し、何でも相談し合える関係づくりに努めている。

【説明・演習】「魅力ある学校図書館づくりの実際」

■講師 北海道立図書館総務企画部企画支援課主任
森 定理 恵 氏



◇ 子どもの読書活動に関する法律等の紹介の後、和光小学校の図書室を会場に環境改善の事例を紹介した。

【リニューアルのポイントについて】

- 1 図書を更新する-除架（除籍）
○内容が古い本は、書架から除く。
- 2 ディスプレイを工夫する
○コンビニや大型スーパーをイメージし、本をとりたくなるような並べ方にする。
- 3 表示・装飾を工夫する
○わかりやすく、親しみを感じる表示や装飾にする。
- 4 レイアウトを工夫する
○読書、授業に使いやすく、安心感を与える配置にする。

【協議】「読書活動の活性化を目指した学校図書館の在り方」



◇ 読書活動の活性化を図るため、「読書活動を推進する上で課題と感じていること」、「地域や関係機関との連携など今後の方向性」について協議を行った。

【主な内容】

- ◇ 本に興味をもてない子など不読児への対応について
- ・個に応じた働きかけが有効ではないか。興味を示した本と類似した内容の本を紹介するなど、段階的な対応で興味をもってもらえるのではないか。
 - ・教諭と学校司書との協力も不可欠である。読み聞かせやブックトーク、ビブリオバトルなどを授業に取り入れてもらうことにより、興味をもってもらえるのではないか。

参加者の感想

- ◇ 今日学んだことを最大限生かしつつ、一人でも多くの子どもたちが利用できるような魅力ある図書室にしていきたいです。
- ◇ 本の見せ方など、図書室に行ってみたいと思えるヒント、実際に結び付く内容が多く、参考となることがたくさんありました。
- ◇ 図書室のレイアウトや展示の工夫から始めたいと思います。また、もっと打合せの時間をもち、選書と企画に関して連携していきたいと思えます。